



株主の皆様へ

代表取締役社長
多田野 宏一

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに2020年度中間期(2020年4月1日から2020年9月30日まで)のご報告をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、設備投資や輸出は低迷し、景気は極めて厳しい状況にあります。海外においては、経済活動の再開が段階的に進む一方で、新型コロナウイルスの感染拡大、原油価格の低迷や点する地政学的リスクもあり、景気は極めて厳しい状況にあります。

私どもの業界は、日本では、緊急事態宣言発令に伴う建設工事中断等で稼働は一時的に低下し、需要は減少しました。海外では、各国政府のロックダウン等の影響を受け、大幅減少の北米を始めとして全ての地域で需要が減少しました。

このような経営環境の中、当中間期は、売上減少に伴う売上総利益の低下に加え、ドイツ・Demag事業連結の影響による売上原価率の悪化、販売費及び一般管理費の増加により、誠に遺憾ながら2010年度中間期以来10年ぶりの営業損失を余儀なくされました。

当社は2019年7月31日、Demagブランドのクレーン事業を買収し、オールテレーンクレーンの更なる拡充とクローラクレーンという新たな製品ラインナップに加え、お客様の幅広いニーズにお応えできるようになりました。買収以来、Tadano Demag GmbHと既存のTadano Faun GmbHは統合活動を進め、グループとしてのシナジー効果発揮と早期の黒字化を目指し努力して参りましたが、本年発生した新型コロナウイルス感染症の影響によって、世界のクレーン需要は停滞し、欧州事業の黒字化に向けた計画にも大きな遅れが生じる見通しが判明しました。

このような状況を踏まえ、2020年10月8日、両社は現地法に基づく事業再生手続きを進めることを決定し、現地裁判所に手続きを申請しました。この制度では、企業が通常業務を維持しながら再建を進められるよう制度的支援を受けられます。よって両社の生産・販売・サービス活動に影響は及びません。この手続きによって欧州事業の再建がよりスピーディに進み、タダノグループの長期成長につながるものと考えております。

なお、2018年1月19日に公表しました米国排ガス規制の緩和措置に関する自己申告については、現在、米国当局(環境保護庁・司法省)との協議が進行中です。協議の終了時期は見通せておりませんが、今後、開示が必要な事由が判明しましたら、適時適切に対応いたします。株主の皆様及び関係各位にご心配をおかけしますことをお詫び申し上げます。

今後の経済見通しにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大により、非常に厳しい状況が続くと予想されます。

当社グループを取り巻く市場環境につきましても、新型コロナウイルスの感染状況及びワクチン開発の目途がつかずまでは一進一退が続くと思われ、今後の回復時期については、各国政府の経済対策の動きと合わせて、注視して参ります。

2020年度をスタートとする「中期経営計画(20-22)」は「誇れる企業を目指して(赤い矢印に集中)」を基本方針として、4つの重点テーマ実現のために、8つの戦略に取り組んで参ります。

「誇れる企業」とは、「強靱な企業であること」、「進化し続ける企業であること」、「顧客と社会のお役に立てる企業であること」、「世の中から支持される企業であること」そして、一番大切なのは「社員が誇りを持って参る企業であること」です。

・4つの重点テーマ

- ①グループシナジー最大化(+TDG)
- ②耐性アップ
- ③競争力強化
- ④ESG・SDGs推進

・8つの戦略

- ①市場ポジションアップ
- ②四拍子強化
- ③グローバル&フレキシブルものづくりへの取り組み
- ④ライフサイクル価値の向上
- ⑤新技術取り組みとソリューションビジネス展開
- ⑥収益力回復・資産効率改善
- ⑦グループ&グローバル経営基盤の強化
- ⑧人材活用

なお、2020年度は、「中期経営計画(20-22)初年度への取り組み」・「欧州事業再建」・「ビッグプロジェクト推進」・「ESG・SDGs 取り組み第一歩」を推進して参ります。

私たちがタダノグループは、「企業が社会や人との調和の中に生かされている存在」との認識のもと、地域社会・国際社会発展への貢献と地球環境の保全に役立つ事業活動を推進し、全てのステークホルダーの期待に応え、企業価値を最大化することで、「世界に、そして未来に誇れる企業」を目指します。

中間配当につきましては、10月30日開催の取締役会におきまして、当中間期の業績及び今後の厳しい経営環境を勘案し、その実施を見送らせていただくことを決議させていただきました。

株主の皆様には、事情ご賢察のうえ、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

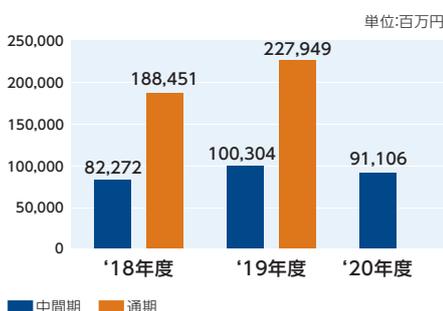
2020年12月

営業の経過及び成果

日本向け売上高は、建設用クレーン・車両搭載型クレーン・高所作業車が揃って減少し、435億1千7百万円(前年同期比80.4%)となりました。海外向け売上高は、2019年7月31日に買収を完了したDemagブランドのクレーン事業連結により、欧州を中心に増加したものの、475億8千8百万円(前年同期比103.1%)に留まりました。この結果、総売上高は911億6百万円(前年同期比90.8%)、海外売上高比率は52.2%となりました。売上減少に伴う売上総利益の低下に

加え、Demag製品を中心とした構成の変化による売上原価率の悪化、Demag事業連結の影響による販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は10億3千8百万円の損失(前年同期75億7千3百万円の利益)、経常利益は15億9千万円の損失(前年同期72億6千2百万円の利益)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は25億6千6百万円の損失(前年同期52億6千7百万円の利益)となりました。

■売上高



■経常利益又は経常損失



■親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失



タダノグループの連結業績の概況

タダノグループの主要品目別売上高の推移

■建設用クレーン

日本向け売上は、需要が減少する中、181億2千2百万円(前年同期比72.5%)となりました。海外向け売上は、Demag事業が連結に加わったものの、すべての地域で需要が減少し、369億8千4百万円(前年同期比94.3%)となりました。この結果、建設用クレーンの売上高は551億6百万円(前年同期比85.8%)となりました。



トラッククレーン
(建設用クレーン)



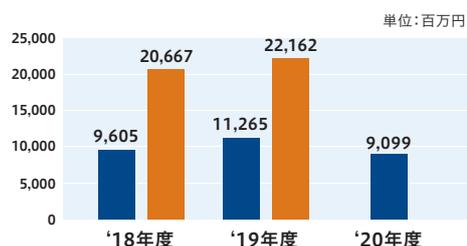
オールテレーンクレーン
(建設用クレーン)



ラフテレーンクレーン
(建設用クレーン)

■車両搭載型クレーン

日本向け売上は、需要の減少により、84億7千1百万円(前年同期比81.4%)となりました。海外向け売上は、6億2千8百万円(前年同期比73.6%)となりました。この結果、車両搭載型クレーンの売上高は90億9千9百万円(前年同期比80.8%)となりました。



カーゴクレーン
(車両搭載型クレーン)

■高所作業車

高所作業車の売上高は、レンタル業界向け需要の減少により、84億9千3百万円(前年同期比89.3%)となりました。

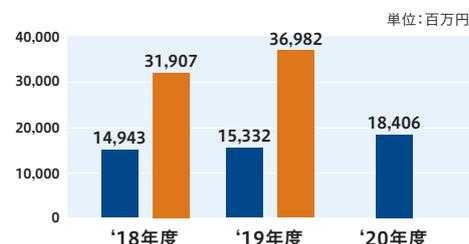


スカイボーイ
(高所作業車)



■その他

部品、修理、中古車等のその他の売上高は、Demag事業連結により、184億6百万円(前年同期比120.1%)となりました。



連結財務諸表

第2四半期連結貸借対照表

(前期):2020年3月31日現在
(当四半期):2020年9月30日現在

単位:百万円

科目	前期	当四半期
(資産の部)		
流動資産	227,192	224,168
現金及び預金	57,075	73,051
受取手形及び売掛金	59,231	40,732
電子記録債権	4,035	3,525
商品及び製品	46,724	54,321
仕掛品	32,430	30,101
原材料及び貯蔵品	18,279	18,196
その他	9,895	4,785
貸倒引当金	△ 480	△ 545
固定資産	84,067	83,573
有形固定資産	68,433	68,534
建物及び構築物	25,829	25,739
機械装置及び運搬具	9,241	10,328
土地	25,677	25,639
リース資産	1,197	1,167
建設仮勘定	2,676	1,512
その他	3,812	4,147
無形固定資産	1,675	1,647
投資その他の資産	13,958	13,390
投資有価証券	5,994	6,110
繰延税金資産	6,888	6,367
その他	1,409	1,264
貸倒引当金	△ 333	△ 352
資産合計	311,260	307,741

科目	前期	当四半期
(負債の部)		
流動負債	77,261	69,317
支払手形及び買掛金	34,370	19,956
電子記録債務	6,374	4,865
短期借入金	9,737	22,020
リース債務	1,010	1,081
未払金	8,666	7,605
未払法人税等	2,068	1,310
製品保証引当金	4,325	4,033
未経過割賦販売利益	111	78
その他	10,596	8,366
固定負債	75,840	85,525
社債	40,000	50,000
長期借入金	9,850	9,833
リース債務	2,437	2,691
繰延税金負債	805	389
再評価に係る繰延税金負債	2,109	2,109
退職給付に係る負債	17,439	17,357
その他	3,199	3,144
負債合計	153,102	154,843
(純資産の部)		
株主資本	159,025	154,699
資本金	13,021	13,021
資本剰余金	16,853	16,810
利益剰余金	131,791	127,449
自己株式	△ 2,641	△ 2,582
その他の包括利益累計額	△ 1,836	△ 2,964
その他有価証券評価差額金	△ 210	△ 194
土地再評価差額金	1,270	1,270
為替換算調整勘定	△ 2,522	△ 3,713
退職給付に係る調整累計額	△ 374	△ 327
非支配株主持分	969	1,163
純資産合計	158,158	152,897
負債純資産合計	311,260	307,741

第2四半期連結損益計算書(累計)

(前四半期):2019年4月1日から2019年9月30日まで
(当四半期):2020年4月1日から2020年9月30日まで 単位:百万円

科目	前四半期	当四半期
売上高	100,304	91,106
売上原価	74,195	72,805
割賦販売利益繰延前売上総利益	26,108	18,300
未経過割賦販売利益戻入	27	66
未経過割賦販売利益繰入	84	34
売上総利益	26,051	18,332
販売費及び一般管理費	18,478	19,370
営業利益又は営業損失(△)	7,573	△ 1,038
営業外収益	192	298
営業外費用	503	851
経常利益又は経常損失(△)	7,262	△ 1,590
特別利益	696	114
特別損失	16	28
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	7,942	△ 1,504
法人税、住民税及び事業税	3,173	1,073
法人税等調整額	△ 488	△ 22
法人税等合計	2,684	1,051
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5,258	△ 2,556
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 9	10
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	5,267	△ 2,566

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(累計)

(前四半期):2019年4月1日から2019年9月30日まで
(当四半期):2020年4月1日から2020年9月30日まで 単位:百万円

科目	前四半期	当四半期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,775	△ 1,769
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 24,451	△ 2,010
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	34,911	20,294
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 632	△ 540
V 現金及び現金同等物の増減額	11,602	15,973
VI 現金及び現金同等物の期首残高	65,753	56,997
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	77,355	72,971

会社概要 (2020年9月30日現在)

概要

商号	株式会社タダノ TADANO LTD.
資本金	13,021,568,461円 (発行済株式の総数 129,500,355株)
設立	1948年8月24日
従業員数	単独1,473名 連結5,130名
事業内容	建設用クレーン、車両搭載型クレーン及び高所作業車等の製造販売
本社	香川県高松市新田町甲34番地
工場	高松工場(高松市)、志度工場(さぬき市)、香西工場(高松市)、 多度津工場(香川県多度津町)、千葉工場(千葉市)
研究所・試験場	技術研究所(高松市)、三本松試験場(東かがわ市)
支店・営業所	10支店・23営業所
海外事務所	北京事務所、中東事務所、モスクワ事務所、バンコク事務所

グループ会社

子会社 40社 関連会社 3社

日本(計11社)

株式会社タダノアイメス
株式会社タダノアイレック
株式会社タダノエステック
他8社

北米(計3社)

タダノ・アメリカ Corp. [アメリカ]
タダノ・マンティス Corp. [アメリカ]
他1社

その他(計12社)

欧州(計14社)

タダノ・ファウン GmbH [ドイツ]
タダノ・デマーグ GmbH [ドイツ]
他12社

タダノ・アジア Pte. Ltd. [シンガポール]
タダノ・オセアニア Pty Ltd [オーストラリア]
タダノ・エスコーツ・インディア Pvt. Ltd. [インド]
タダノ・タイランド Co., Ltd. [タイ]
他8社



志度工場 [さぬき市]
(建設用クレーンの開発)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
基準日	定時株主総会については毎年3月31日 その他必要がある場合には、あらかじめ公告して定めます。
公告の方法	電子公告により、当社ホームページ (https://www.tadano.co.jp/) に掲載いたします。ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
お取扱窓口	証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、お取引の証券会社等へご連絡をお願いいたします。証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取扱いいたします。なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。 〒168-8507 東京都杉並区和泉 2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部 ☎0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
お問合せ先	
お取扱店	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※) みずほ銀行 本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。

役員

代表取締役社長	多田野 宏 一
代表取締役副社長	氏家 俊 明
取締役・執行役員専務	奥山 環 一
取締役・執行役員常務	澤田 憲 一
取締役	吉田 康 之(※)
取締役	野口 由 典(※)
取締役	村山 昇 作(※)
執行役員副社長	鈴木 正 一
執行役員常務	飯村 慎 幸
執行役員常務	高梨 利 幸
執行役員常務	イェンス・エネン
執行役員常務	合田 洋 之
執行役員	程 箭
執行役員	インゴ・シラー
執行役員	川本 親 之
執行役員	藤野 博 啓
執行役員	高木 有 司
執行役員	多田野 雅 彦
執行役員	池浦 宏 三
執行役員	林 徳 裕 司
執行役員	徳田 幸 雄
執行役員	五味 耕 一
執行役員	森野 士 朗
執行役員	吉田 耕 三
執行役員	小 滝 哲
常勤監査役	西 陽 一 朗
常勤監査役	北村 明 彦
常勤監査役	井之川 和 司(※)
監査役	三宅 雄 一 郎(※)
監査役	鈴木 久 和(※)

(※) 社外取締役及び社外監査役

ホームページのお知らせ

ホームページにアクセスしていただきますと、
当社の各種情報をご覧いただけます。



<https://www.tadano.co.jp/>

